

★ サクラサク 合格作文 ★

Vol.11

2023年入試において、合格された方の作文を掲載しています。

濱岡 隆旨くん (蒼開高校 卒業)

法政大学	生命科学部	合格
日本大学	生命工学部	合格
東京農業大学	生命科学部	合格
帝京大学	理工学部	合格

明光で初めて青チャートを貰った時から、好きな教科は数学でした。知識を溜めつつ解いていくと知識が繋がっていく感じが心地よくて、夢中になって解いていきました。高2まで、勉強はほぼこれしかしていませんでした。というよりそれ以外の勉強は嫌いでした。古典、物理は手付かずのまま受験期に突入し、英語も化学も苦手だったので悩みました。ここで数学がなければもう諦めていたと思います。ただ、幸い数学が得意だったということで、明光の先生が私立理系という選択肢を一緒に考えてくれました。国語という重荷が下りて嬉しくて、さらに数学をしました。しかし、夏休み前から、理系受験生にとっての英語の重要さを聞き、大焦りました。5文型の大切さや、いかに英文法が体系的であるかを教わりました。それまでは英文法は例外だらけで規則がないと思っていた僕にとって、これは驚きでした。一つ一つ英文法を整理していくと、長文の精読が楽しくなり、今度はこればかりしていました。9月からは夢中になって化学をしました。こんなアンバランスな勉強でもなんとか間に合ったのはいつもそばで細かく軌道修正してくれる明光の先生がいたからです。

たくさん気付きを与えてくれた先生や一緒に過ごした友達、毎日夜遅くまで送り迎えしてくれた親に感謝したいと思います。大変だったけれど充実した1年間だったと思います。

増田 華怜さん (三原中学校 卒業)

淡路三原高校 普通科 合格

私は3年生になっても、どこの高校に行きたいのかなど、進路についてあまり考えていませんでした。学校で進路調査書を渡された時、周りのみんなはいろいろと考えているのに私は全然考えていなくて、とても不安な気持ちでいっぱいでした。でも、いろんな人達に相談して三高に行くことに決めました。

目標が決まってからは、合格に向けてもっと勉強を頑張ろうと思いましたが、なかなか思うように良い結果を出せなくて不安でした。数学は、2年生の後半ごろに定期テストでよい点数を取ってから、ずっと得意科目だったと思います。大満足とまではいかなくても「難しいテストだったのにこんなに取れてすごい！」と先生に声をかけてもらったことも嬉しかったし、もっとこれからも頑張っていこうと思えました。でも数学に比べて英語が少し苦手で、夏休みから始まった単語テストはいつも必死でした。不合格が続いてしまってしんどかった時がありましたが、もう絶対に再テストにはならないと心に誓って頑張りました。

2月に入ると毎週日曜日にも塾内模試があつて、休みの無い日が続きました。でも、回を重ねていく毎に点数が上がって行って、とてもうれしかったです。それでも、合格するまではすごく不安で、大変でした。成績が伸びずに悩んでも、不安でいっぱいになっても、気持ちでは負けずに頑張ってきました。自分では努力してきたと思うし、諦めずに頑張って乗り越えられたのは、先生方や家族、友達の支えがあったからだと思います。ありがとうございました。

最後に、志望校や進路が具体的に決まっていなくても、何か勉強はしておいた方が良いです。私も次の目標はまだ決まっていますが、これからも頑張っていきたいと思います。

個人情報の扱いについてはご本人の了解を得た上で掲載しております。また文章内容は、オリジナリティを損なわない程度に修正等をしている場合があります。

合格おめでとうございます。

君たちの将来に幸多からんことを心よりお祈り申し上げます。

